

GCAサヴィアン株式会社

2014年12月期 第3四半期累計(1月-9月)決算説明資料

2014年10月30日

**GCA
SAVVIAN**

(東証1部：コード2174)

2014年第3四半期累計の業績

2014年第3四半期累計の総括



売上高は9,607百万円で前年同期比38%増、営業利益は2,565百万円で同96%増、純利益は1,516百万円で同81%増と大幅な増収増益となった。



アドバイザー事業において、第3四半期(3か月)の売上高は3,492百万円百万円となり、四半期売上高で過去最高であった。2013年からの米国でのシニアメンバー増員の効果があった。



メザニンが運営するファンドにおいて回収が一層進み、前期に続いて成功報酬が発生し、増収増益に貢献。



資本政策として、配当と自社株買いで100%株主還元を実施中。最大10億円の自社株買いの枠を設定し、9月末までに5億円を実施済。



8月時点で保有していた24億円の自己株式(発行済株式総数の8.63%)を全て消却。第3四半期累計の純利益で既にROE19%と高ROE。

2014年12月期第3四半期累計の業績

- ✓ アドバイザリー事業は日米ともに前期より増収、特に米国では大幅増収となった
- ✓ メザニンファンドは前期に続いて成功報酬を計上し、増収増益に貢献

ファンド非連結ベース

(単位:百万円)

	実績 ⁽¹⁾				前期比	増減率
	2014 3Q	率	2013 3Q	率		
売上高						
アドバイザリー						
日本	3,007		2,885		122	4.2%
米国	4,165		2,970		1,195	40.2%
アセットマネジメント	2,435		1,102		1,333	121.0%
売上高合計	9,607		6,957		2,650	38.1%
営業利益	2,565	26.7%	1,306	18.8%	1,259	96.4%
純利益	1,516	15.8%	836	12.0%	680	81.3%

(ご参考) ファンド連結ベース

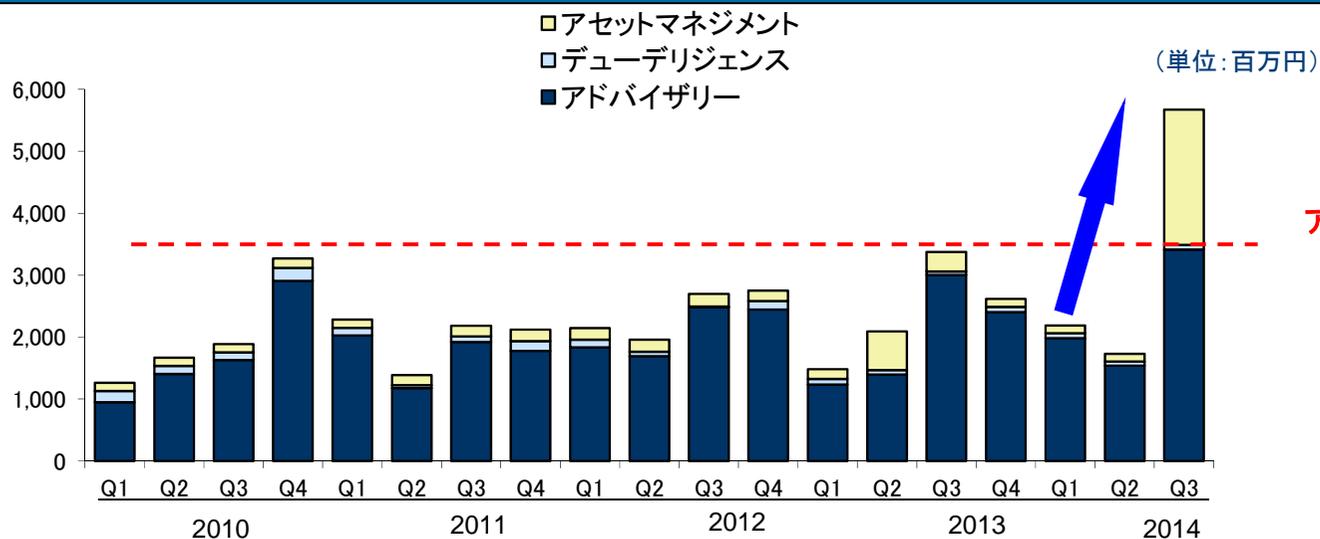
売上高	17,816		18,549		(733)	(4.0)%
営業利益	5,611		3,764		1,847	49.1%
純利益	1,516		836		680	81.3%

注(1) 2014年3Q実績の平均為替レート: ¥102.96/US\$および¥171.86/GBP
 2013年3Q実績の平均為替レート: ¥96.71/US\$および¥149.39/GBP
 当社グループからファンドへの出資(比率1%)につきましては持分法を適用しております。

売上・営業利益の四半期推移

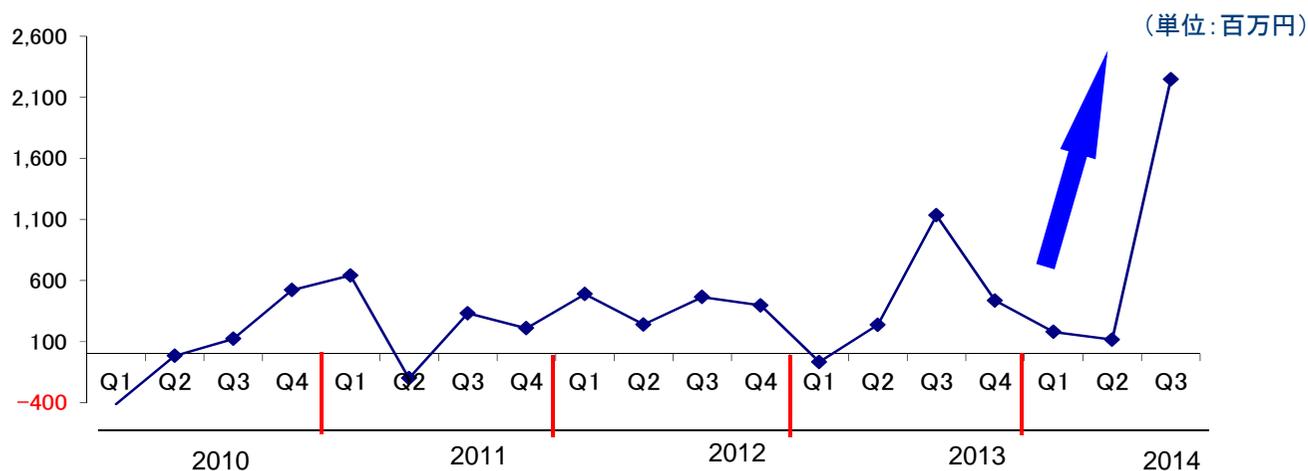
✓ アドバイザリー売上高は四半期で過去最高、営業利益も過去最高を大幅更新

売上 四半期推移 (ファンド非連結ベース)



当四半期の
アドバイザリー
売上高は
過去最高

営業利益 四半期推移 (ファンド非連結ベース)



GCAサヴィアのランキング

2014年3Qの日本関連リーグテーブルにて
案件数ベースで第6位、金額ベースでは第8位

2014年3Q 日本のM&Aにかかわった ファイナンシャルアドバイザー(件数ベース)			
アドバイザー	取引金額 US\$ mil.	案件数	
1 三井住友FG	6,023	32	
2 みずほFG	2,279	32	
3 野村証券	8,469	31	
4 デロイト	1,052	22	
5 三菱UFJモルガンスタンレー	27,877	19	
6 GCAサヴィア	5,177	16	
7 大和証券	3,208	13	
7 KPMG	3,199	13	
9 PwC	1,183	11	
10 ゴールドマンサックス	13,026	9	

2014年3Q 日本のM&Aにかかわった ファイナンシャルアドバイザー(金額ベース)			
アドバイザー	取引金額 US\$ mil.	案件数	
1 三菱UFJモルガンスタンレー	27,877	19	
2 クレディスイス	16,403	6	
3 センタービューパートナーズ	15,428	1	
4 ゴールドマンサックス	13,026	9	
5 野村証券	8,469	31	
6 Citi	7,417	19	
7 三井住友FG	6,023	4	
8 GCAサヴィア	5,177	16	
9 エヴァコア	4,454	4	
10 アーンストヤング	4,266	7	

出所) マージャーマーケット

バランスシート

- ✓ 健全なバランスシート
- ✓ 8月に全ての自己株式を消却し、9月の残高は新たに取得した1億円のみ

(単位:百万円)

科目	ファンド非連結		(ご参考) ファンド連結	
	2013/12 ⁽¹⁾	2014/9 ⁽²⁾	2013/12 ⁽¹⁾	2014/9 ⁽²⁾
現預金等	5,659	5,809	7,147	15,370
売掛金	1,154	2,896	1,154	3,896
営業投資有価証券 ⁽³⁾	328	520	5,328	7,652
営業貸付金 ⁽³⁾	17	45	1,008	1,972
その他	473	841	482	854
流動資産	7,631	10,111	15,119	29,744
有形固定資産	239	200	239	200
投資有価証券	287	359	287	359
その他	1,192	1,170	1,191	1,170
固定資産	1,718	1,729	1,717	1,729
資産合計	9,349	11,840	16,836	31,473
未払法人税	268	985	268	985
その他	2,135	3,039	2,149	5,083
負債合計	2,403	4,024	2,417	6,068
株主資本	8,260	7,033	8,260	7,033
自己株式	(2,000)	(100)	(2,000)	(100)
為替換算評価額等	754	883	753	883
少数株主持分 ⁽³⁾			7,406	17,589
純資産合計	7,014	7,815	14,419	25,405
負債・純資産合計	9,417	11,840	16,836	31,473

注 (1)2013年12月31日の為替レート : ¥105.40/US\$および¥173.74GBP

(2)2014年9月30日の為替レート : ¥109.45/US\$および¥177.68GBP

(3)ファンド非連結により影響を受ける科目

2014年第3四半期の代表的な案件




Charoen Pokphand Group

伊藤忠商事とCharoen Pokphand Groupの業務資本提携(伊藤忠商事へのアドバイザー)

2014年9月クローズ

大型の日本-アジア
クロスボーダー案件




キトーによるPeerless Industrial Group, Inc.の買収(キトーへのアドバイザー)

2014年8月クローズ

大型の日米共同
クロスボーダー案件




Oracle CorporationによるTOA Technologiesの買収(TOA Technologiesへのアドバイザー)

2014年7月公表

大型の
米国内案件

資本政策の基本ポリシー

- ✓ 配当予想は年間最低10円
業績により一株利益の30%まで増配する可能性がある
- ✓ 株主資本は最大50億円とし、超過分は自己株買いの原資する

総株主還元率 = 100%
高ROE

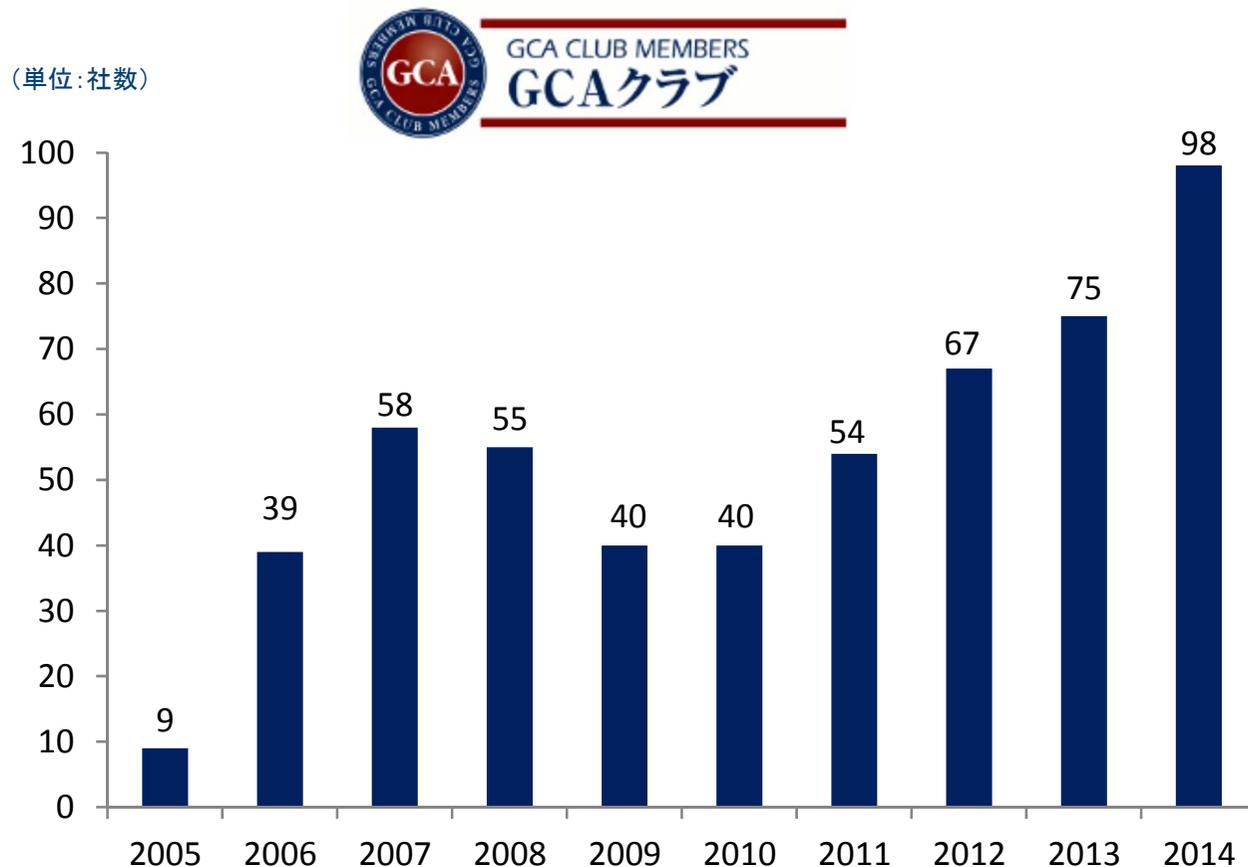
- 1) 10億円規模の自己株買いを実施中
9月末までに5億円を実施済み
- 2) 第3四半期累計の純利益で既にROE19%

GCAクラブ - 会員社数100社へ

✓ 2005年、9社の会員で始まったGCAクラブは、2014年に98社まで増加、間もなく100社へ

法人向け有料会員制のGCAクラブは、M&A関連の知識、実務を広く共有していただく場として2005年11月の設立

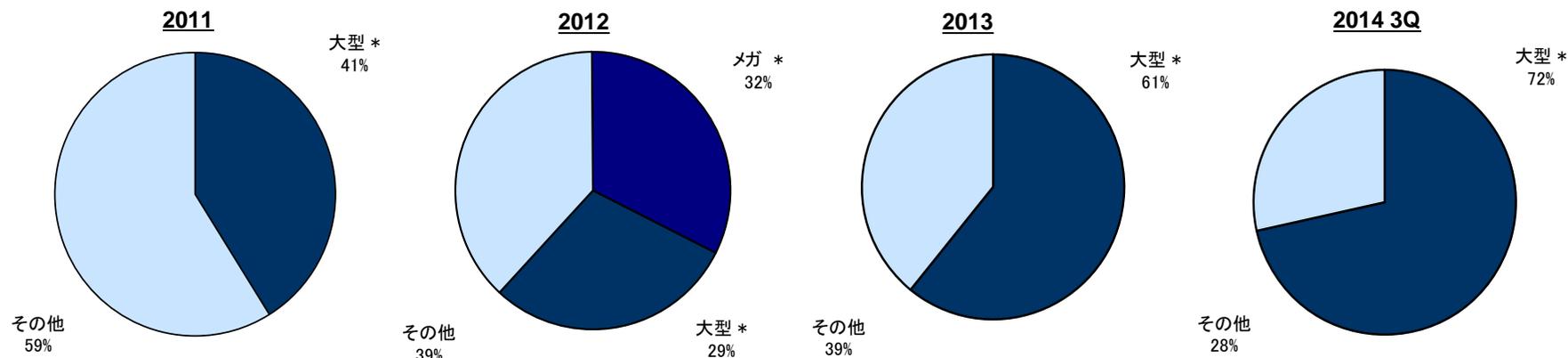
GCAクラブセミナーの開催、専属担当者によるポイントコンサルティング等を提供



Appendix

M&Aアドバイザー事業の補足データ

大型案件比率（金額ベース）



プロフェッショナルの推移

四半期別平均	FY2013				FY2014				FY2014 期末
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
アドバイザー日本	77	78	76	74	78	81	86		86
アドバイザー米国	65	62	64	61	60	65	67		67
アドバイザー欧州	1	1	1	1	1	1	1		1
デューデリジェンス	29	30	30	32	29	28	20		20
アセットマネジメント	10	10	10	10	9	8	8		8
	182	181	181	178	177	183	182		182

(単位:人)

2014年 3Qは大型案件比率が72%と高水準

“ Trusted Advisor For Client’ s Best Interest ”

当社はグローバルな「上場M&A専門ソリューショングループ」＝「社会の公器」として価値創出型のM&Aソリューションを提供することにより、クライアントの成長と世界経済の発展に貢献してまいります。



本資料は、GCAサヴィアン株式会社の事業及び業界動向についてのGCAサヴィアン株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。GCAサヴィアン株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。本資料における将来の展望に関する表明は、本資料公表日現在において入手可能な情報に基づいて、GCAサヴィアン株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載を更新し変更するものではありません。また、掲載された情報の内容の正確性、有用性、また適切性等について、当社は一切保証するものではなく、本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがあります。